

自社が成長し続けることで地域への貢献につなげたい

三洋興熱株式会社・笹井 宏一さん

三洋興熱株式会社は北海道帯広市で 75 年の歴史を持ち、石油や LP ガス、灯油販売などを通して地域の人々の暮らしを支えています。帯広や十勝の魅力、人材の課題、副業人材活用などについて、三洋興熱株式会社の代表取締役社長・笹井 宏一さんにお話を伺いました。

■御社について教えてください。

祖父が創業した会社で、父（会長）が 2 代目、私が 3 代目です。帯広、十勝を中心にガソリンスタンドや石油、LP ガス、灯油販売、その他関連商品の販売のほか、設備工事業では水回りや空調の工事などを、関連会社と共に行っております。株式会社になってから 75 年を迎え、時代の変化に対応しながら、地域の人たちの暮らしに寄り添ってきました。

■3 代目とのことですが、家業を継がれた経緯を教えてください。

東京・埼玉の異業種で働いていたのですが、2015 年に U ターンしました。しばらく取締役として経営を学んでから 2 年前に代表取締役社長に就任しました。前社長も会長として、現在も業務運営を行っています。違う地域で学んだ経験を加味することで、三洋興熱のプラスになればと思っています。

■帯広や十勝の魅力について教えてください。

晴れの日が多いところが気に入っています。東京から戻ると気づくのですが、食べ物がいっぱいですね。特に十勝は食料自給力が高く、種類も多くて、食に恵まれています。土地が広く農業が盛んな地域ですが、農業だけではなく、建築業や小売業など、さまざまな仕事に関わっている方がいます。人と人とのつながりや信頼関係を大切にする風土が特徴といえるかもしれません。

■東京での仕事と比較して違いを感じることはありますか？

業種にもよりますが、私自身は東京も北海道も大きな違いはないと思っています。ただ、人間関係を重視する地域だと感じています。新しい取り組みを行う上では細やかな説明や段取りを行うとより円滑に進むと感じます。弊社でも幅広く課題点を拾い、スピード感をもって課題解決に取り組むように努めています。

■人材不足は感じていますか？また、御社ではどのような人材を求めていますか？

弊社でも業務の拡大に伴い、増員の必要性を感じています。好奇心があり、自分で考えて

試し、改善するプロセスを踏める方と仕事ができたら、我々も刺激を受けて成長できると思います。当社の考え方に共感し、同じ方向を見てくださる方であれば、経歴は問いませんが、北海道に何となく行きたい、住んでみたいというだけだと、腰を据えて仕事するのは難しいかもしれません。

■外部人材の活用についてはどう思いますか？

以前、副業人材にお願いしたこともあるので、導入に抵抗はありませんが、新たな活用についてはイメージできていません。地域での労働人口の減少もあり、今後は副業人材などに上手に依頼することが必要だと思いますし、北海道内の企業でもっと活用が進んで、成功体験などの情報を得られると、弊社でも活用したいと思えるようになるかもしれません。

■将来の展望について教えてください。

地域の暮らしに役立っていきたいです。まずは我々が成長して、より良いものを提供することが重要ですし、それが当社の存在意義だと思っています。また、社員にはここで働いてよかったと思ってもらえるように、健康対策や社内コミュニケーションを充実させていきたいですね。

【企業 HP】 <https://www.eco-sanyo.co.jp/>